

授業科目名 (英文名)	国際経済学(経済学部・専門教育科目)(International Economics)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	西山 博幸	所属	経済学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	国際経済の現状を認識したうえで、その現象が生ずる原因を理論的に解明する。本講義の目的は、国際経済学の基礎理論の習得である。経済理論習得のための学習は、論理的な思考パターンを確立するトレーニングとして最適である。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>主に国家間における財や資本の取引について考察する。例えば、国際貿易が発生する理由や貿易によって生ずる利益、貿易を制限することによる利益とその根拠などを考える。さらに、対外経済取引が行われる状況下での国民所得決定やマクロ経済政策の効果などについても考察を加える。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絶対優位説と貿易構造 2. 比較生産費説と貿易構造 3. 貿易利益の発生メカニズム 4. 要素賦存仮説と貿易構造 5. 新貿易理論 6. 保護貿易の経済効果 7. 貿易制限の根拠 8. 国際資本移動 9. 多国籍企業と海外直接投資 10. 開放経済下での国民所得決定理論1 11. 開放経済下での国民所得決定理論2 12. 変動相場制下のマクロ経済政策1 13. 変動相場制下のマクロ経済政策2 14. 固定相場制下のマクロ経済政策1 15. 固定相場制下のマクロ経済政策2 16. 評価(到達度の確認) 		
テキスト	授業開始時に指示する。		
参考文献	授業開始時に指示する。		
成績評価の基準・方法	講義内容の理解度・論証能力の程度に応じて評価する(ランクS~C)。基本的には定期試験のスコア(100%)によって評価するが、授業中の発表等も含めて判断する。		
履修上の注意・履修要件	不明点はそのままにせず、積極的に質問に来ること。予習も必要であるが、特に復習は十分に行うこと。講義は板書が中心となるので、必ずノートを持参すること。		
実践的教育	該当しない。		
備考	担当教員の研究領域は国際経済学であり、本講義は、その専門的知識を用いて学部レベル科目として開講するものである。		